

お客様各位

2023年4月27日

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

適用拡大 2023年4月26日付(2件)

(1) パレード20フロアブル

登録第24071号

①作物名の追加:

- ・にんじん/黒葉枯病、2000~4000倍、収穫前日まで、3回以内
- ・にら/白斑葉枯病(2000~4000倍)、収穫前日まで、3回以内
- ・スッキーニ/うどんこ病(2000~4000倍)、収穫前日まで、3回以内
- ・アスパラガス/茎枯病(2000倍)、収穫前日まで、3回以内
- ・にんにく/葉枯病(2000倍)、収穫前日まで、2回以内
黒腐菌核病(原液)、植付前、1回
- ・ししとう/うどんこ病、黒枯病(2000~4000倍)、収穫前日まで、3回以内
- ・はなやさい類(ブロッコリーを除く)/黒すす病、菌核病(2000~4000倍)、収穫前日まで、
3回以内/菌核病(100倍)、育苗期後半~定植当日、1回

②作物名の変更:

- ・あずき、いんげんまめ ⇒ 豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)

③作物名・適用病害虫名の変更:

- ・すいか、メロン/うどんこ病、つる枯病、菌核病
⇒ かり類(成熟)/うどんこ病、つる枯病(すいか、メロン)、菌核病(すいか、メロン)

④使用方法の追加:ブロッコリー/菌核病、100倍、セル成型育苗トレイ1箱または、

ペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4ℓ)当たり0.5ℓ、灌注

⑤ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数の変更:ブロッコリー/「3回以内」⇒「3回以内(灌注は1回以内)」

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピラジフルト [®] を含む農薬の 総使用回数
豆類 (種実、ただし、ら っかせいを除く)	菌核病 灰色かび病	2000～ 4000 倍	100～300ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
スッキーニ	うどんこ病						
うり類 (成熟)	うどんこ病 つる枯病 (すいか、メロン) 菌核病 (すいか、メロン)						
はなやさい類 (ブロッコリーを除く)	黒すす病	100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱ま たは、ペーパーポット 1 冊 (約 30×60cm、使用土 壌約 1.5～4ℓ) 当り 0.5ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1 回	灌注	3 回以内 (灌注は 1 回以内)
	菌核病						
ししとう	うどんこ病 黒枯病	2000～ 4000 倍	100～300ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
にら	白斑葉枯病						
にんにく	黒腐菌核病	原液	種球重量の 1%	植付前	1 回	種球 塗沫	3 回以内 (種球塗沫は 1 回以内、 散布は 2 回以内)
	葉枯病	2000 倍	100～300ℓ/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	3 回以内
アスパラガス	茎枯病		100～700ℓ/10a		3 回以内		
にんじん	黒葉枯病	2000～ 4000 倍	100～300ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内 (灌注は 1 回以内)
ブロッコリー	菌核病 黒すす病	2000～ 4000 倍	1.6ℓ/10a				
		16 倍				3.2ℓ/10a	
		32 倍					
	菌核病	100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱ま たは、ペーパーポット 1 冊 (約 30×60cm、使用土 壌約 1.5～4ℓ) 当り 0.5ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1 回	灌注	

【追加する注意事項】

・にんにくの種球に塗沫する場合は、薬剤が種球に均一に付着するよう処理した後、乾燥させること。

(2) パレード 15 フロアブル

登録第 24072 号

作物名の追加:キウイフルーツ/灰色かび病、2000～3000倍、収穫前日まで、2回以内

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ピラジフルミド を含む農薬の 総使用回数
キウイ フルーツ	灰色かび病	2000～ 3000 倍	200～700 ℓ /10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内

* 注意事項の変更はありません。

以上